



せいれん

Egofilter another works 4

2013.2.23(sat)-24(sun)@渋谷ギャラリーLE DECO5

せいれん

Egofilter another works4

関大輔

登場人物

- 横手紗枝子 (34)
近藤良平 (39)
森脇姫子 (27)
間中もえ (23)
大島毅 (たけし) (33)
おかあさん (不明)
間中さわ (28)
所早良允 (しよざわらまこと) (28)
辰川重実 (25)

暗闇の中、電話の着信音が鳴っている。

*

東京都板橋区高島平。団地群の一角。

夕暮れ時。

間中もえ（23）が携帯電話で電話をかけている。

もえの足元に白線引き用の錆びついたラインマーカーが転がっている。

もえは新進気鋭の覆面作家横手清廉（せいれん）の住込みの付き人である。

やや離れた場所に横手。小柄な女だ。体が不自由なのか、車椅子に乗っている。

横手は車椅子を漕ぎ進めていたが、もえが自分に寄り添わず何処かへ電話をかけているのに気づき不満の表情を浮かべる。しかしもえを咎めることはせず、また一人で先へ進むのとも出来ぬのか、所在なさげに車椅子をキイキイと前後に動かし始める。

*

何処か

電話をとる、もえの姉さわ。

もえ.. お姉ちゃん

さわ.. もしもし..、もえ？もえなの？

もえ.. お姉ちゃん..ごめんね..今までずっと

さわ.. もえ！今何処にいるの？

もえ.. うん.. (言葉を濁す)

さわ.. もえ？

もえ.. うん。落ち着いたらまた連絡するね。あたし、もう大丈夫だから

さわ.. もえ！

電話が切れる。

茫然と電話を見つめるさわ。

*

もえは電話を切り、うつむいている。

それを見つめる横手。

横手.. もえちゃん、先行ってるわよ

うつむいたまま、横手の呼びかけに力なく頷くもえ。

一人車椅子を走らせ帰路に向かう横手。

その後姿を見つめるもえ。

足元のラインマークに気づく。

ラインマークの取っ手にそつと手を触れる。

一拍の間

もえは地面の自分の周りに一周、円を描く。

自分の描いた円。その中心にもえが立っている。

もえ.. 自分の居場所、できたよ。……お姉ちゃん、あたし、今しあわせだよ

いつの間にか、もえの背後に日傘を差した黒いドレスを着た長身の女が立っている。舞踏会に赴くような装いだが、黒一色のその出で立ちは見る者を不安にさせる。

愛おしそうに、もえを背後から抱きしめる。

それに気づかないもえ。

暗転

東京都板橋区高島平。団地群の一角。冬。作家横手紗枝子（34）の自宅アパート。こたつに入り、ノートPCのキーボードを打つ横手。原稿を執筆中である。両手にはめられた指の分かれていない手袋を着用したままで、器用にタイピングを続ける。こたつの上に置かれた携帯電話が何度も着信音を鳴らしているが、全く気にしていない。こたつの上の湯飲みに目を落とす。

横手.. もえちゃん悪いんだけど、お茶のお代わり貰えるかなあ？もえちゃん

何度か呼びかけるが返事がなく、諦めてタイピング作業に戻る。

窓の外に視線を向ける。肌着姿の間中もえがベランダで正座をしている。ベランダには雪が積もっている。

横手.. ああ、そうだったけ…

ドアの外には横手の担当編集者の森脇姫子（27）がいる。

呼び鈴を鳴らす森脇。

横手…うるさい！

森脇…やっぱりいらっしやったんじゃないですか。先生

横手…しつこいなあ。鍵なら開いてますから。そこまですてお入りになりたいのでしたらどうぞ自由に

ドアを開け、室内に入る森脇。

森脇…先生……

横手…なに。原稿ならまだできてないって言ってるでしょう。締め切りまではまだ24時間もあるじゃないですか。

森脇…でも

横手…何？

森脇…先生いくらご連絡しても一向にお返事頂けませんし、お電話にだって…

横手…あなたとお話ししたら、創作する上で何か利点があるんですか？

森脇…いえ…

横手…わざわざやってくるなら土産の一つでも持って来れないものかしら

森脇…え

横手…私マダムシンコのマダムブリュレが食べたい

森脇…じゃああの私

横手…冗談よ。馬鹿みたい。おとなしく原稿が上がるまで待っていてください。急になんなんですか？
気
持ち悪い

森脇…でも、心配なんです

横手…何を。…私が原稿を投げ出すかどうかですか？ご安心ください。私はあなたにどんな嫌がらせをさ

れようが、そんなことで原稿を投げ出すような弱い人間じゃありません

森脇……あの、それは誤解です

包帯の巻かれた左手を掻き巻く森脇。

横手…なんなのその包帯。

森脇…ですからこれはあの、できものが…

横手…だから、これは、うつらないって言ってるでしょう！

森脇…違うんです

横手…私はあなたとお話ししたくないんです。業務連絡ならもえとすればいいじゃない。

森脇… もえさんとも連絡がとれないんです

横手… なんぞ？

森脇… …あの

森脇がベランダを凝視している。もえの身体にも雪が積もっている。

森脇… もえさん

横手… ああ、反省させているんです

森脇… あの、…どのくらい？

横手は質問に答えず、こたつの上の携帯電話を掴むとベランダまで這い進み、外のもえに投げつける。

横手… もえちゃん。森脇さんが連絡を取りたいそうなのでお願いできる？

指の動かない手袋越しにベランダのサッシ窓を器用に閉め、鍵を掛けると、森脇を睨みつける横手。

横手.. もういいでしょう？

森脇.. え？

横手.. お帰りください

森脇.. 先生。もえちゃんこのままじゃ

横手.. 反省が済めば中に入れます

森脇.. でも

横手.. 出て行って。あなたの顔はもう一秒だって見ていたくないの

不服と不安の表情を浮かべながら退室する森脇。

横手.. 薬を飲まなくちゃ。レクチゾール、ランプレン、リファジン…。もえちゃん、お薬取って……

床を這いながらキッチンに向かう横手。

暗転

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

せいれん（おためしサンプル）
Egofilter another works4

2013年3月11日 初版発行

著 者 関大輔 © 2013年
発行者 石村寛之
発行所 有限会社レトロインク
〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7
電話 0422-49-2903
